伸ばす 家庭の時間を応援する

家庭学習応援だより

大洋小学校 教務部 令和4年9月2日発行

第 4 号

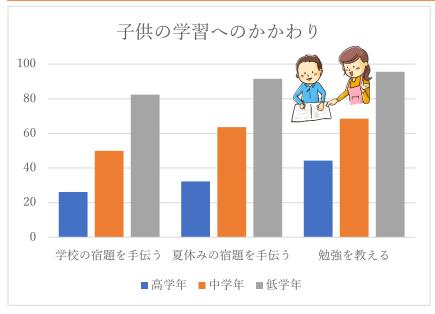
2学期がスタートしました。夏休み中の家庭での学習はいかがでしたか。また、ほめる夏休みにできたでしょうか。あまりできていなかった親御さんは今からでも遅くありません。ほめる9月にしてください。

さて今号は、いつも文章が多くなりがちなので、グラフなど絵図を使ってお伝えしたいと思います。よくテストや学力調査に、「・・・グラフから読み取りあなたが考えたことを、立場を明確にして作文にしましょう。」という問題が出ます。保護者の皆様は、これらの絵図一つ一つからどんなことを読み取り、どうお考えになるでしょうか。

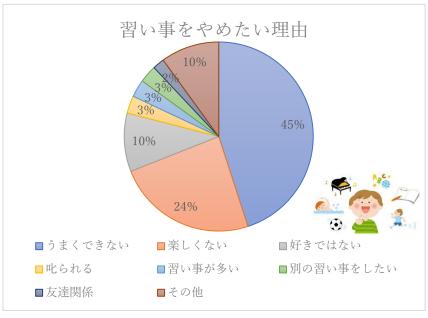
究極のセンタク、あなたはどうしてる?



「宿題はきちんと自分で終わらせる」or「親が手伝っても提出できればいい」、「習い事は親がどんどんやらせるべき」or「自主性に任せるべき」…などなど、家庭ではいろいろな選択に直面します。でも結局正しいのはどちらなのでしょうか。ここでは、いくつかの調査結果をもとに、家庭で意見が二分しそうなテーマを取り上げ、保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思います。



学校の宿題は、個人の能力に関係なく 一律に出されることが多いので、子供 によっては過度な負担になることがあ ります。その場合は、手伝ってあげてく ださい。つらい状態が続いている場合 は、学校にご相談ください。また、学習 上「ここが大事」という宿題は、子供任 せにせず親御さんが見ていただけると よいです。特に、低学年のうちは宿題を 気にかけてほしいです。そのうえで、「一 通りできている」と感じたら、子供にあ る程度任せてもよいでしょう。

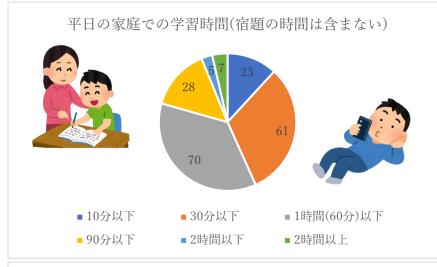


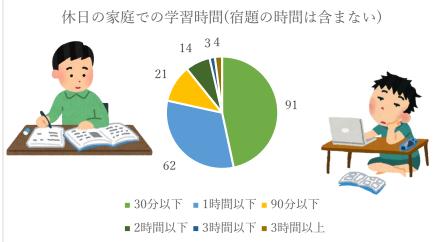
親がやらせたいことを、無理に押し付けても身につくことは少ないと思います。これからの激動の時代は、困難な課題へ主体的に挑戦できる「活力ある人材」が求められています。それなのに、子供のころから指示されることばかりでは、従属的な生き方しか身につかなくなってしまい、社会に出てからも自ら考えず、指示されたことしかできない大人になってしまいます。お試しでいいので、お子様がやりたいことをやらせてみてはどうでしょう。いろいろ試すうちにぴったりなものがきっと見つかります。

本校児童の調査結果は、コチラ



こちらは、本校での児童(3~6年児童)の調査結果です。学校や家庭での学習に関するアンケートから、家庭で学習している時間についての調査結果です。こちらの結果からどんなことが見えてくるでしょうか。





宿題以外に家庭で学習している時間が30分~1時間という児童が全体の36%います。また、1時間~90分と合わせると50%であり、思っていた以上に平日は家庭で学習している児童が多い結果でした。家庭でのご協力ありがとうございます。ただ、学習時間が10分以下に12%いるのが気になるところです。平日は習い事などで忙しいので、休日にその分を補填しているということでしょうか。

休日は平日と比べ、家庭での時間が多いのでどうかと思いましたが、休日は平日とは異なる結果となりました。30分以下という児童が半数近い47%います。また、1時間以下と合わせると79%です。ほとんどの児童が、休日に自主的な学習をしていないという結果です。子供たちの気持ちは、休日だとなかなか学習に向かっていないようですね。

おわりに

今号の最後に、4月に6学年で実施し、先日結果が公表された全国学力学習状況調査の質問紙の回答から気になった点をお伝えしたいと思います。6学年保護者の皆様には、各教科の調査問題の結果について個票が配られますので、お子様の正答率と全国の平均正答率を比較して、ご家庭で学習の参考にしてみてください。

ここでは、質問紙にあった、1日当たりのゲーム の時間や動画視聴の時間に関する項目の回答結果について紹介します。4時間以上ゲームや SNS・動画視聴をしている6年児童の割合が、全国や茨城県の平均と比較して10ポイント程度、あるいはそれ以上高くなっていました。平日に4時間以上、ゲームまたはSNSや動画視聴というのは、下校後のほとんどの時間ではないでしょうか。本校児童の実態の一部が見えてきますね。

